

1. ^{みな} 皆さん, ^{にほんご きょうし} こんにちは。日本語 教師のまみです。

여러분, 안녕하세요. 일본어 교사 마미입니다.

2. ^{きょう} 今日のエピソードでは, ^{えど じだい} 江戸時代の ^{ひとびと} 人々の ^く 暮らし ^{はな} について, ^{おも} お話ししてみたいと思います。

오늘 에피소드에서는 에도 시대 사람들의 생활에 대해 이야기해보려고 해요.

3. ^{みな} 皆さんは, ^{えど じだい} 江戸時代について, ^も どんなイメージを持っていますか。

여러분은 에도 시대에 대해 어떤 이미지를 가지고 계신가요?

4. ^{さむらい} 侍 ^{ふべん じだい} がたくさんいて, ちょっと不便な時代, というイメージがあるかもしれませんね。

사무라이가 많고 조금 불편했던 시대, 그런 이미지가 있을지도 모르겠네요.

5. ^{じっさい} でも, 実際 ^{しら} に調べてみると, ^{えど じだい} 江戸時代の ^{ひと} 人たちの ^く 暮らし ^{おもしろ} には, ^{くふう} 面白い工夫がたくさんあります。

하지만 실제로 조사해보면 에도 시대 사람들의 생활에는 재미있는 지혜가 많이 담겨 있어요.

6. ^{きょう}今日は, ^{なか} その中でも, ^{とく} 特に ^{おもしろ} 面白いと思う ^{おも} ポイントを, ^{しょうかい} いくつか ^{おも} 紹介したいと思います。

오늘은 그중에서도 특히 재미있다고 생각하는 포인트를 몇 가지 소개해드리려고 해요.

7. ^{さいしょ} まず ^{ながや} 最初 ^す は, "長屋" という住まいについてです。

먼저 첫 번째는 '나가야'라는 주거 형태에 대한 이야기예요.

8. ^{ながや} 長屋 ^{ひと} というのは, ^{たてももの} 一つの建物 ^{なか}の中に, ^{かぞく} いくつもの家族 ^{いっしょ}が ^す 一緒に ^{きょうどうじゅうたく} 住む, 共同 住宅 ^{おも} のことです。

나가야라는 건 하나의 건물 안에 여러 가족이 함께 사는 공동 주택을 말해요.

9. ^{いま} 今 ^{ことば} の言葉 ^い で言うと, ^い アパート ^い のようなものですね。

요즘 말로 하면 아파트 같은 거예요.

10. ^{いま} でも, 今 ^{かべ} のアパート ^{うす} よりも, ^{うす} ずっと壁 ^{うす} が薄くて, ^{うす} プライバシー ^{うす} というものが, ^{うす} あまりありませんでした。

하지만 지금의 아파트보다 벽이 훨씬 얇아서 프라이버시라는 게 거의 없었어요.

11. となり いえ かいわ き
隣の家の会話が,そのまま聞こえてしまうことも,よくあったそうです。

옆집의 대화가 그대로 들려버리는 일도 자주 있었다고 해요.

12. ながや す ひと なか よ い
だから,長屋に住む人たちは,とても仲が良かったと言われています。

그래서 나가야에 사는 사람들은 사이가 아주 좋았다고 해요.

13. しょうゆ き となり いえ か い
お醤油が切れたら,隣の家に借りに行きます。

간장이 떨어지면 옆집에 빌리러 가요.

14. だれ あか な こうたい み
誰かの赤ちゃんが泣いていたら,みんなで交代で見あげます。

누군가의 아기가 울고 있으면 다 함께 돌아가며 돌봐줘요.

15. たが さま せいしん ながや く ささ
こういう"お互い様"の精神が,長屋の暮らしを支えていました。

이런 '서로돕기' 정신이 나가야의 생활을 지탱하고 있었어요.

16. いま わたし く くら わたし おも
今の私たちの暮らしと比べると,ちょっとうらやましいかと,私は思います。

지금 우리의 생활과 비교하면 조금 부럽다고 저는 생각해요.

17. みな となり す ひと なまえ し
皆さんは,隣に住んでいる人の名前を,ちゃんと知っていますか。

여러분은 옆집에 사는 사람의 이름을 제대로 알고 계신가요?

18. ながや おおや ひと
長屋には,"大家"さんという人もいました。

나가야에는 '오야'라는 사람도 있었어요.

19. おおや やちん あつ す ひと そうだんやく やくわり
大家さんは,家賃を集めるだけでなく,住んでいる人たちの,相談役のような役割も
も
持っていました。

오야는 집세를 걷는 것뿐만 아니라 거기 사는 사람들의 상담 상대 같은 역할도 했어요.

20. なかなお てつだ こま ひと たす
けんかの仲直りを手伝ったり,困っている人を助けたりしていました。

싸움의 화해를 돕기도 하고 곤란한 사람을 도와주기도 했어요.

21. いま い かんりにん そんざい
今で言うと,ちょっとおせっかいな,マンションの管理人さんみたいな存在ですね。

요즘으로 말하면 조금 오지랖 넓은 아파트 관리인 같은 존재예요.

22. つづ ふた め こ きょういく はな
続いて,二つ目のポイントです。子どもの教育について,お話しします。

이어서 두 번째 포인트예요. 아이들의 교육에 대해 이야기해볼게요.

23. えど じだい てらごや ばしょ
江戸時代には,"寺子屋"という場所がありました。

에도 시대에는 '데라코야'라는 곳이 있었어요.

37. ^{さんきんこうたい}参勤交代 ^{かくち}というの、^{だいまよう いちねん}各地の大名が一年おきぐらいに、^{えど}江戸と^{じぶん りょうち}自分の領地を^{おうふく}往復^{せいど}する制度の事です。

산킨코타이라는 건 각지의 다이묘가 대략 일 년에 한 번씩 에도와 자신의 영지를 오가는 제도예요.

38. ^{だいまよう}大名は、^{けらい}たくさんの家来を連れて、^つ何日もかけて^{なんにち}江戸まで^{えど}移動しました。^{いどう}

다이묘는 많은 가신을 데리고 며칠이나 걸려서 에도까지 이동했어요.

39. ^{いどう}この移動にかかる^{かね}お金は、^{けつ}決して^{やす}安くはありませんでした。

이 이동에 드는 돈은 결코 적지 않았어요.

40. ^{じつ}でも、^{せいど}実はこの制度、^{えど}江戸の町にとっては、^{まち}すごく^{おお}大きな^{けいざいこうか}経済効果があったんです。

하지만 사실 이 제도는 에도라는 도시에는 아주 큰 경제 효과가 있었어요.

41. ^{だいまよう}大名たちが^{えど}江戸に来るたびに、^く宿場^{しゅくばまち}町が賑わって、^{にぎ}お店も^{みせ}どんどん^ふ増えていきました。

다이묘들이 에도에 올 때마다 숙소 마을이 북적이고 가게도 점점 늘어났어요.

42. ^{えど}江戸の人口は、^{じんこう}最終^{さいしゅうてき}的に^{まんにん}100万人^ふぐらいまで、^い増えたと言われています。

에도의 인구는 결국 100만 명 정도까지 늘어났다고 해요.

43. ^{とうじ}これは、^{せかい}当時の^{なか}世界の中でも、^{おお}かなり^{とし}大きな都市だったそうです。

이는 당시 세계에서도 상당히 큰 도시였다고 해요.

44. ^{ばくふ}幕府にとっては、^{だいまよう}大名^{ちから}たちの^{おさ}力を^{せいど}抑えるための^{けっかてき}制度^{えど}でしたが、^{はってん}結果的に江戸の発展

にもつながったんですね.
막부 입장에서는 다이묘들의 힘을 억누르기 위한 제도였지만 결과적으로 에도의 발전으로도 이어진 거예요.

45. ^{よっめ}四つ目は、^{せいしん}"もったいない"の精神についてです。

네 번째는 '못타이나이'(아까움) 정신에 대한 이야기예요.

46. ^{えど}江戸時代^{じだい}の人たちは、^{ひと}本当^{ほんとう}に^{もの}物を^{だいじ}大事にしていました。

에도 시대 사람들은 정말로 물건을 소중히 여겼어요.

47. ^{いま}今の^{もの}ように^{じだい}たくさんの物がある時代ではなかったので、^{ひと}一つの^{もの}物を、^{なんど}何度も^{なお}直して^{つか}使

いました。
지금처럼 물건이 넘쳐나는 시대가 아니었기 때문에 하나의 물건을 몇 번이고 고쳐서 사용했어요.

48. ^{ふる}古^{きもの}くなった^{ふるぎや}着物は、^う"古着屋"^{べつ}に^{ひと}売って、^き別の人が^{また}着ます。

낡은 기모노는 헌옷 가게에 팔아서 다른 사람이 다시 입어요.

49. ^きそれでも着られなくなったら, ^{ふとん なか い}布団の中に入れたり, ^かおむつに変えたりしました。

그래도 못 입게 되면 이불 속에 넣거나 기저귀로 바꾸기도 했어요.

50. ^{おもしろ}さらに面白いのが, ^も燃えたあとの灰まで, ^{はい}買いに来る ^か商売 ^くがあったことです。

더 재미있는 건 다 타고 남은 재까지 사러 오는 장사가 있었다는 거예요.

51. ^{はい か}"灰 買い"と呼ばれる人たちが, ^よ各 ^{ひと}家庭の灰を集めて, ^{かくかてい}肥料 ^{はい}や ^{あつ}洗剤 ^{ひりょう}の ^{せんざい}材料 ^{ざいりょう}として ^う売っ

ていたそうです。

'재 장수'라고 불리는 사람들이 각 가정의 재를 모아서 비료나 세제의 재료로 팔았다고 해요.

52. ^{ひと}一つの物が, ^{もの}最後の最後まで, ^{さいご}何かの役 ^{さいご}に立つように ^{なに}使われていたんですね。

하나의 물건이 마지막의 마지막까지 무언가에 도움이 되도록 쓰였던 거예요.

53. ^{いませかいじゅう}今, ^{ことば}世界中 ^{つか}で"エコ"や"サステナブル"という言葉が, ^{えど}よく使われていますが, ^{じだい}江戸 ^く時代 ^{さいせんたん}の暮らしは, ^{さいせんたん}その 最先端 ^{さいせんたん}だったのかもしれませんが。

지금 전 세계에서 '친환경'이나 '지속 가능'이라는 말이 자주 쓰이고 있는데 에도 시대의 생활이야말로 그 최첨단이 었을지도 몰라요.

54. ^{さいご}最後に, ^{ごらく}娯楽 ^{すこ}についても ^{しょうかい}少し 紹介 ^{しょうかい}します。

마지막으로 오락에 대해서도 조금 소개할게요.

55. ^{えど}江戸 ^{じだい}時代 ^{しょうみん}の ^{しょうみん}庶民 ^{いちばん}にとって, ^{たの}一番 ^いの ^{かぶき}楽しみ ^{かぶき}といえば, "歌舞伎"でした。

에도 시대 서민들에게 가장 큰 즐거움이라고 하면 '가부키'였어요.

56. ^{かぶき}歌舞伎 ^{はで}は, ^{いしょう}派手 ^{けしょう}な ^{もの}衣装 ^{えん}や ^{えん}化粧 ^{でんとうげいのう}で, ^{でんとうげいのう}物語 ^{でんとうげいのう}を ^{でんとうげいのう}演じる ^{でんとうげいのう}伝統 ^{でんとうげいのう}芸能 ^{でんとうげいのう}です。

가부키는 화려한 의상과 화장으로 이야기를 연기하는 전통 예능이에요.

57. ^{いま}チケット ^{いま}は, ^{みちか}今 ^{りょうきん}よりも ^{たの}身近な ^い料金 ^いで ^い楽し ^いめた ^いと言 ^いわれています。

티켓은 지금보다 부담 없는 가격으로 즐길 수 있었다고 해요.

58. ^{よせ}それから, "寄席" ^{ばしょ}という ^{ばしょ}場所 ^{ばしょ}もあり ^{ばしょ}ました。

그리고 '요세'라는 곳도 있었어요.

59. ^{よせ}寄席 ^{らくご}では, ^{おもしろ}落語家 ^{はなし}が ^{はなし}面白い ^{てじな}話 ^みをし ^みたり, ^{てじな}手品 ^みを見 ^みせ ^みたり ^みして ^みいま ^みした ^み。

요세에서는 라쿠고가(만담가)가 재미있는 이야기를 하거나 마술을 보여주기도 했어요.

60. ^{いま}今の ^{にほん}日本 ^{よせ}にも, ^{のこ}寄席 ^いは ^{らくご}残 ^{たの}って ^{たの}いて, ^い今 ^{らくご}でも ^{たの}落語 ^{たの}を ^{たの}楽し ^{たの}む ^{たの}こと ^{たの}が ^{たの}でき ^{たの}ます。

지금의 일본에도 요세는 남아 있어서 지금도 라쿠고를 즐길 수 있어요.

61. ^たそれから, ^{もの}食べ物 ^{おもしろ}について ^{はなし}も, ^{はなし}ちょっと ^{はなし}面白い ^{はなし}話 ^{はなし}が ^{はなし}あり ^{はなし}ます。

그리고 음식에 대해서도 조금 재미있는 이야기가 있어요.

62. ^{いま こうきゅう}今では ^{すし てん}高級 なイメージがある, ^{じつ えど じだい}お寿司や天ぷらですが, ^{しょみん}実は江戸時代には, 庶民のファストフードでした。

지금은 고급스러운 이미지가 있는 초밥이나 덴푸라지만 사실 에도 시대에는 서민들의 패스트푸드였어요.

63. ^{みちばた やたい た}道端の屋台で, ^た立ったまま, さっと食べるものだったんです。

길거리 포장마차에서 선 채로 후딱 먹는 음식이었어요.

64. ^{にぎ すし いま おお ひとくち た}握り寿司も, ^{きがる た もの}今よりずっと大きくて, 一口で ぱくっと食べられる, 気軽な食べ物だったそうです。

니기리즈시도 지금보다 훨씬 크고 한입에 덩석 먹을 수 있는 부담 없는 음식이었다고 해요.

65. ^{おな やたい た にんき}そばも同じように, 屋台でさっと食べられる, 人気のメニューでした。

소바도 마찬가지로 포장마차에서 후딱 먹을 수 있는 인기 메뉴였어요.

66. ^{いそが えど こ やたい しごと もど い}忙しい江戸っ子たちは, 屋台でそばをすすって, ^いまた仕事に戻っていたと言われていま

바쁜 '에dot코'(에도 토박이)들은 포장마차에서 소바를 후루룩 먹고 다시 일하러 돌아갔다고 해요.

67. ^{いま ぶんか に き}今のファストフード文化と, ^きどこか似ている気がしませんか。

지금의 패스트푸드 문화와 어딘가 비슷한 느낌이 들지 않나요?

68. ^{わたし はなし し えど じだい すこ か}私は, ^かこの話を知ったとき, 江戸時代のイメージが, ^か少し変わりました。

저는 이 이야기를 알았을 때 에도 시대에 대한 이미지가 조금 바뀌었어요.

69. ^{ひと わたし おもしろ おも じかん かん かた}もう一つ, ^{かた}私が面白いと思うのは, 時間の感じ方です。

하나 더, 제가 재미있다고 생각하는 건 시간을 느끼는 방식이에요.

70. ^{えど じだい いま とけい}江戸時代には, ^きもちろん今のような時計は, ^きほとんどありませんでした。

에도 시대에는 당연히 지금 같은 시계는 거의 없었어요.

71. ^{ひとびと てら かね おと き じかん し}だから, ^し人々は, ^しお寺の鐘の音を聞いて, 時間を知っていました。

그래서 사람들은 절의 종소리를 듣고 시간을 알았어요.

72. ^{あ むつ く むつ たいよう うご あ じかん わ}"明け六つ"や"暮れ六つ"のように, ^わ太陽の動きに合わせて, 時間を分けていたそう

'아케무쓰'(새벽 여섯 시)나 '구레무쓰'(해질녘 여섯 시)처럼 태양의 움직임에 맞춰 시간을 나누었다고 해요.

73. ^{いま いっぱんいちびょう き く じかん かん}今のように, ^{かん}一分一秒を気にする暮らしではなくて, ^{かん}もっとゆったりした時間の感じ方だったんですね。

지금처럼 1분 1초를 신경 쓰는 생활이 아니라 훨씬 여유로운 시간의 흐름이었던 거예요.

74. ^{みな} 皆さんは、^{えど じだい} 江戸時代の^く こんな暮らし、^{おも} どう思いますか。

여러분은 에도 시대의 이런 생활 어떻게 생각하세요?

75. ^{ながや} 長屋の^{ひとづ} 人付き合いや、^あ もったいない^{せいしん} 精神、^{たいけん} タイムスリップして^{おも} 体験してみたいと思
いますか。

나가야에서의 사람 사귀이나 못타이나이 정신, 타임슬립해서 직접 체험해보고 싶으신가요?

76. ^{いま} それとも、^{べんり} やっぱり^く 今の^{ほう} 便利な^{おも} 暮らしの方がいいなと思
いますか。

아니면 역시 지금의 편리한 생활이 더 좋다고 생각하시나요?

77. ^{おし} ぜひ、コメントで^{おし} 教えてくださいね。

꼭 댓글로 알려주세요.

78. ^{じつ わたし} 実は私も、^{えど} 江戸 ^{とうきょう} 東京 ^{はくぶつかん} 博物館 ^{ばしょ} のような^い 場所^{なが} に行く^{じかん} と、^{みい} つい長い^{みい} 時間、^{みい} 見入ってしま
います。

사실 저도 에도도쿄박물관 같은 곳에 가면 저도 모르게 오랫동안 넋을 놓고 보게 돼요.

79. ^{ながや} 長屋の^{もけい} 模型^{とうじ} や、^{どうぐ} 当時の^み 道具^{もの} を^{すく} 見ていると、^{ひと} 物が^{ひと} 少ないから ^{だいじ} こそ、^{だいじ} 一つ一つを^{だいじ} 大事^{だいじ} にして
いたんだなと^{かん} 感じ^{かん} ます。

나가야의 모형이나 당시의 도구를 보고 있으면 물건이 적었기 때문에 오히려 하나하나를 소중히 여겼구나 하는 생
각이 들어요.

80. ^{べんり} 便利な^{いま} 今の^く 暮らし^す も^す 好き^{えど じだい} ですが、^{ひと} たまには^{ひと} 江戸時代^{もの} の人^{だいじ} たちの^{だいじ} ように、^{だいじ} 物を^{だいじ} 大事^{だいじ} にす
る^{きも} 気持ち^{おも} ちを、^だ 思い出^{おも} したい^{おも} なと思
います。

편리한 지금의 생활도 좋아하지만 가끔은 에도 시대 사람들처럼 물건을 소중히 여기는 마음을 떠올리고 싶다고 생
각해요.

81. ^{きょう} はい。今日の^{きょう} エピソード^{きょう} は、^{きょう} ここ^{きょう} まで^{きょう} です。

네. 오늘 에피소드는 여기까지예요.

82. ^{えど じだい} 江戸時代の^{ひとびと} 人々^く の^{たの} 暮らし^{たの} について、^{たの} 楽し^{たの} んでも^{たの} らえ^{たの} ましたか。

에도 시대 사람들의 생활에 대해 재미있게 들으셨나요?

83. ^{ながや} 長屋、^{てらごや} 寺子屋、^{さんきんこうたい} 参勤交代、^{せいしん} もったいない^{ごらく} 精神、^{きょう} そして^{はな} 娯楽^{きょう} について、^{きょう} 今^{はな} 日は^{きょう} お話^{きょう} し^{はな} しま
した。

나가야, 데라코야, 산킨코타이, 못타이나이 정신, 그리고 오락에 대해 오늘 이야기해봤어요.

84. ^{すこ} 少し^{ふべん} 不便^み そう^{くふう} に見^{ちえ} えても、^{じだい} 工夫^{じだい} と知恵^{じだい} に^{じだい} あ^{じだい} ふ^{じだい} れ^{じだい} た^{じだい} 時代^{じだい} だ^{じだい} った^{じだい} ン^{じだい} ですね。

조금 불편해 보여도 지혜와 공리로 가득했던 시대였던 거예요.

85. きょう さいご き
今日も最後まで聞いてくれて, ありがとうございます。

오늘도 끝까지 들어주셔서 감사합니다.

86. つぎ あ つか さま
次のエピソードでも, また会いましょう。 お疲れ様でした!

다음 에피소드에서도 또 만나요. 수고하셨습니다 !
